



発行所
年2回発行

発行人/事業局長 魚瀬
発行日/平成24年1月1日



特定医療法人グループ・プラティス研究会
藤沢御所見病院
〒252-0825 神奈川県藤沢市獺郷580番地
TEL0466-48-6501 FAX0466-48-5490
<http://www.goshomi.jp>

病院の理念

地域の人々が、健康で明るく暮せるように、
専門組織による、安全で良質な保健、医療
介護サービスを提供する。

今年も

歩きましょう

新年あけましておめでと〜いございます

院長 多田隈 理

日本の小中学生のコレステロール
摂取量は米国を抜いており、日本人
のコレステロール血症は8倍肥満は
罹症率の2倍の増加とか。食内容を
考え、エネルギー消費のため体を動
かしましょう。

「橋」には心ひかれるものがありま
す。全景は勿論、橋脚・橋桁の造り
を観るのが好きで、再三飽きずに隅
田川沿いにリュックを背負い歩きま
す。

御案内しましょう

浅草橋駅を下車し神田川方向へ歩くと
両川岸に屋形船が係留され前方に
緑色した柳橋
が見えます。

欄干にある
「かんざし」
のプレートを見
ると前方に
隅田川に掛る
両国橋が間近
にみえます。



(画：多田隈 理)

技館、江戸東京博物館があり催物が
あればのぞき、旧安田庭園で一休み。
下町を2kmも下れば芭蕉庵跡の高
台へたどり着き、隅田川を一望出来
気持ちのよいものです。

万年橋からは

水門をくぐり隅
田川へ出て行く
鯉を眺められま
す。近くの清澄
庭園で団子を食
べるもよし。
相撲部屋のペラ
ンダにかかるフ
ンドシを横目に
さらに下ります。



万年橋



清洲橋

ライン川のつり橋を
モデルにした清洲橋
さらに下流には現存
する最古のタイドアー
チ橋で、やはりライ
ン川の鉄橋をモデル
にしたとある永代橋
へと続く、川沿いの
公園を歩きます。

中央大橋を渡り、幕府が大阪から漁民
を移住させた佃島、赤い欄干の佃小橋、
脇の公園で一休み、佃煮なんぞ土産に求
め更に西日に光る川面とビル群を眺めな
がら歩くと、すでに跳開を停止した勝鬨
橋が見えてきます。

清洲橋、永代橋と共に重要文化財に指
定されているのですが、重量感あふ
れる橋梁、橋
脚は見ていて
飽きないもの
です。



永代橋

ここで麦酒で
脱水を回復さ
す。
橋を渡ります
とすぐに築地
場外市場に着
きます。

せ、鮨なぞつまんで御苦労さんと己を
慰労しますと消費したエネルギーも振
り出しに戻り、気持ちよく帰路につけ
ると言うもので、これでコレステロー
ル摂取率の上昇も十分納得できると言っ
た塩梅です。

歩きましょう



勝鬨橋

新年 明けましておめでとうの挨拶

昨年4月、看護部長として就任した当初から、これまで35年の歴史を大切に、そして今後さらに地域の方々に愛され、患者さんや御家族に安心していただける看護を提供できるよう努力していきたいと思ひ続け、早くも1年になりました。

病院の職員の方々に温かく迎えていただき改めて私の役割を自覚できたことに感謝いたします。

そして地域の皆様と触れ合うなかで、病院という組織は、地域の方々の医療に対する要望があつて初めて成り立っている」といふことを再認識いたしました。

病院も含め「仕事」といふのは、世間の要望が無かつたら存在しません。

仕事をさせていただいていることに感謝の気持ち、謙虚さ、を忘れてしまいがちな日常を反省する中で、藤沢御所見病院との出会いは、まず自分自身の生き方も同時に振り返ることになりました。

私の御所見病院での仕事は、昨年3月の震災とほぼ同じ時期にスタートしたのですが、「この未曾有の出来事の中、自らが被災者でありながら自分以外の人たちの思いやる人々の姿に、日本人の底力を感じると同時に、元気を与えられました。」

そして、一人の力は微力でも、目の前の出来事、人間関係に、笑顔で「お互いさま」といふ気持ちを持つことで周りの人が優しくなれるような関係は、看護を提供する者にも同様にと、とても大切であると強く感じました。優しい関係作りの為には、まず自分自身のことを知る必要がありますが、「いい、自分を客観的に見ることの大切さを教えてくれる詩があります。」

ある小学6年生の男子の詩で、松原泰道師が著書の中で紹介されたものです。

鏡の中はわたしがいる

私の目は私がうつる

おじいちゃんも悲しい顔がうつる

自然に泣いて泣いて

鏡の中のわたしが

私に何か話しかけてくる

するよ私はすなおになる...

鏡の中はわたしがいる

私の中はわたしがいる



看護部長 古見 田鶴子

「いい、わたしは鏡の中にうつっている鏡像としてのわたしであり、」私
は鏡の前に立っている実際の私です。「この子は鏡の前に立っているとき、い
気分では限らない。」

怒っている時もある、悲しい時もある。しかし、怒っている顔がうつって
いる姿も悲しい顔がうつっているよきまは、自然に泣いて泣いて
くるといいます。

鏡の中のもう一人の自分が色々話しかけてくれるのでしよう。

今後、日々鏡に向かい笑い皺を大切に、「おじいちゃんながら、病院にや
らに笑顔が増えるよう努力していきたいと思ひます。」

「大規模災害（地震）訓練を終えて」

防災・防火管理委員会

実施 日時 平成23年10月6日（木）

平成23年3月11日（金）に発生した「東日本大震災」は、現実の災害としてはリアルタイムに被害状況を衝撃的な映像として報道されたことは、記憶に新しいところです。

藤沢御所見病院は藤沢市西北部に位置し、藤沢市医師会の第10ブロックに属します。災害時の拠点病院として、外来患者・入院患者・多数の傷病者の受け入れに病院の機能が、十分発揮できるようフルスケールの訓練が必要不可欠です。

今回の防災訓練は「東海東南海沖地震」を想定し、震度7強・津波・液状化・建物倒壊等の被害状況下で、職員各自の行動をシナリオ化を行い、地震発生から訓練終了までの工程を検証する。

事前机上訓練・説明会を10月3日実施



主たる訓練項目として

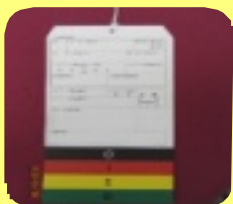
災害対策本部立上げ



負傷者の救出



トリアージタックの訓練



公共関係機関への連絡
病院スタッフの安否確認

以上の項目を出勤スタッフが全員参加でシナリオを用いて時系列に行った。

被害状況の確認



診療継続



訓練結果

負傷者救出ではリアリティのある模擬傷を自作し訓練がより現実化した。

本部立上げは順調で、負傷者救出からトリアージまで事前

準備が整っていたのでスムーズにできた。各病棟の行動シナリオが不明確であった。

訓練終了後、防災・防火管理委員会を開催し訓練全体の検証を行いました。

シナリオを用いた訓練では一元管理する難しさを痛感した。今後は訓練の想定を変えたり、対象部署を限定するなどの工夫した訓練を実施し、職員の災害意識の向上を図りたい。

実際に災害が起きた時は、パニックになる可能性が高いので、医療に携わる者としては、普段から冷静さを保ち、困っている人を助け合う訓練を継続していきたい。

今後の課題としては、一部未耐震の建物が倒壊しないように、補強又は、リニューアルを考え耐震化への向上を目指す。



模擬傷



参加者の感想

シナリオがあつての訓練でしたが難しく、どんな災害時にも共通する冷静・沈着・正確な判断が短時間に出来る様に毎日の生活の中で意識し訓練したいと思います。

業務部部长 太田

3.11の大災害のことがあり、今までも防災訓練は行っていますが、より緊張感をもって真剣に取り組みました。

スタッフへの司令や連絡報告、トリアージ等を体験し、災害時への対応についてイメージができ、とても良い訓練になりました。これからも継続して行い一人一人が実践力を身につけていければ良いと思います。

看護部課長 福永

足のお手入れは何故大切・・・？」

皆さんはご自分の足を「じ～っ」と眺めた事がありますか？たぶん足の爪を切る時に少し見る程度なのではないでしょうか？鏡を見ながらヒゲを剃ったり肌の調子を気にしたりする事と同じように、足にも少し注目をしてみましょう。

糖尿病になると血液中の糖の値が高くなり、全身にいろいろな症状（合併症）が現れます。足にも変化

が現れやすく、「**足がすごく冷たい**」「**ピリピリと嫌な感じ**」「**足の指が紫色になっている**」などの症状があり、これらを『**糖尿病足病変**』と言います。



また糖尿病からくる神経の障害がひどくなる
と痛みに対しての反応が鈍くなってしまいうために、小さな傷に気が付かず潰瘍（かいよう）や壊死（えし、細胞や組織が死んでしまうこと）になってしまう事も少なくありません。

そうなってしまうと歩くことも大変になり、日常生活が出来なくなってしまいます。

このような症状が起こらないために、または悪化しないために足のお手入れをする事を『**フットケア**』と言います。

「タコやウオノメは無いかな？」「血色が悪かったり冷たくはないかしら・・・？」「何か足の感覚が鈍い・・・」。磯貝記念クリニックでは、爪の切り方や保湿の方法、足湯（足だけをお湯につける）の方法などを実践しながら学んで頂いています。また、毎週開催されている「糖尿病教室」とあわせてお聴き頂けると、より解りやすいかと思ひます。

看護師 松義 理加

ノロウイルスによる感染症に注意しましょう！！

土手鍋やフライなど、牡蠣（カキ）のおいしい季節になりましたが、同時にノロウイルスによる感染症が流行する季節でもあります。毎年1～2月が発症のピークになる傾向があります。

どのように感染するかという

汚染されたカキなどの貝類を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合。

ノロウイルスに感染した人が調理した食品を食べた場合。

糞便や嘔吐物から二次感染した場合。

が考えられます。

ノロウイルスが口から入ると、24～48時間後には吐き気、嘔吐、下痢、腹痛の症状が出現します。38℃を超えるような熱は出ません。普通はこれらの症状が1～2日続いたあと軽快します。

発症を防ぐには

食品の中心温度が85℃以上で1分以上加熱されるように調理する

まな板、包丁、ふきんなどを熱湯消毒するか、ハイターで消毒する。

石けんと流水でよく手を洗い、うがいをすることが大切です。



ノロウイルスによる感染症は、健康な人でも発症するので十分に注意しましょう。

感染委員会

編集後記

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年3月11日、東日本大震災。空前規模の大津波。あとかたもなく家がぐずれさった光景を見て、これが同じ日本で起こったのかと、信じられない、恐ろしい気持ちになりました。これから寒いところで避難所生活を送る人たちのことを思うと心が痛みます。でも、日本は助け合いの精神があります。こういう時だからこそ、今まで以上に心をひとつに、頑張っていきたいものです。皆様もお体を大事にお過ごしください。今年もよろしくお願ひいたします。

広報企画委員長 濱田和俊